

磐越自動車道
鳥屋山トンネル工事

設 計 図 (4/5)

附 帯 工

令和7年11月

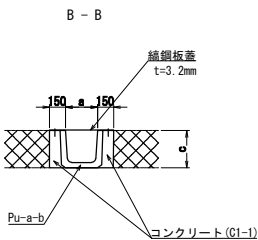
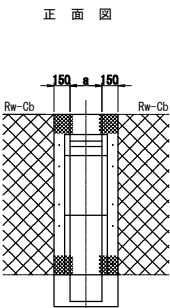
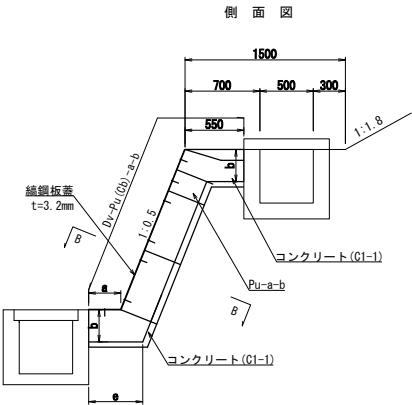
東日本高速道路株式会社
東北支社会津若松管理事務所

目 次

[illegible]

Dc[^](D)-0.80-0.80-1.50 S=1:50

Dv-Pu(Cb)-0.30-0.30 S=1:50

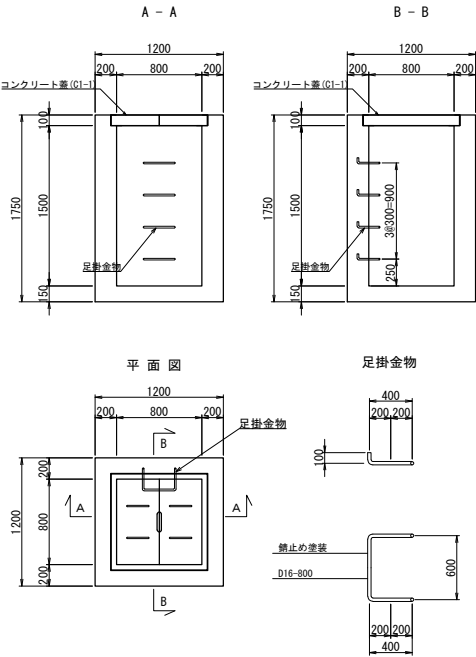


寸法表

種 別	寸 法				単位 (mm)	
	a	b	c	e	重量 (kg)	摘 要
Pu-0.30-0.30	300	300	350	569	270kg	

材 料 表

項 目	種 別	単位	数 量	摘 要
人力掘削	土砂	m ³	0.00	
埋戻し		m ³	0.00	
プレキャスト側溝	Pu-0.30-0.30	個	17.90	L=600
コンクリート	C1-1	m ³	1.19	
型 枠	D	m ²	10.32	
鋼鋼板蓋	t=3.2mm	m	11.83	
アンカーボルト	φ10mm	本	78.00	



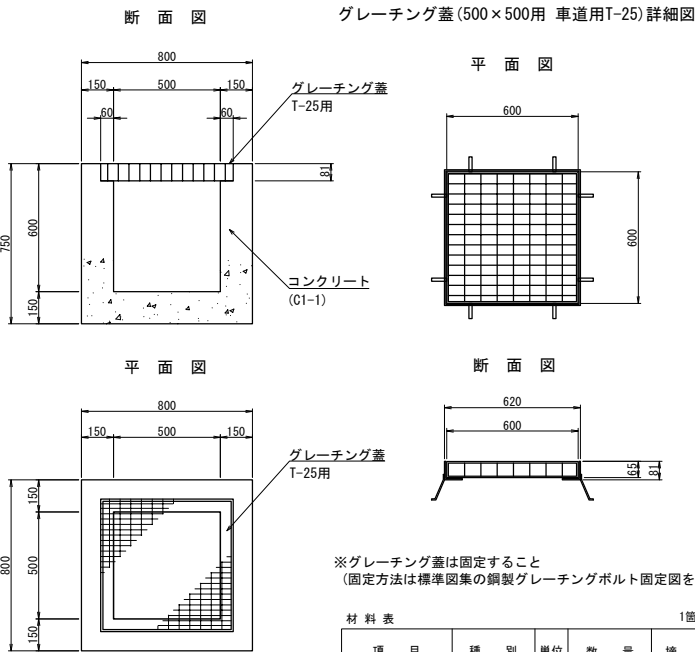
※ 蓋は標準図集の「Dc[^](D)-0.80-0.80-c」と同じものを使用する

材 料 表

項 目	種 別	単位	数 量	摘 要
構造物掘削	機械掘削、土砂	m ³	4.48	
埋戻し		m ³	1.96	
残土		m ³	2.52	
コンクリート	C1-1	m ³	1.42	
	C1-1 (蓋)	m ³	0.08	
型 枠	D	m ²	6.43	
	D (蓋)	m ²	0.81	
鉄筋	A	kg	15.4	足掛金物の重量を含む

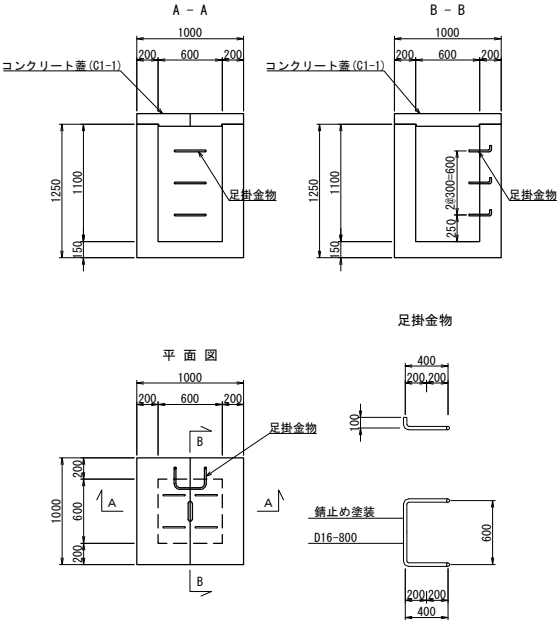
磐城自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	用排水工詳細図（１）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本シビックコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

Dc[^](G)-0.50-0.50-0.60 S=1:25



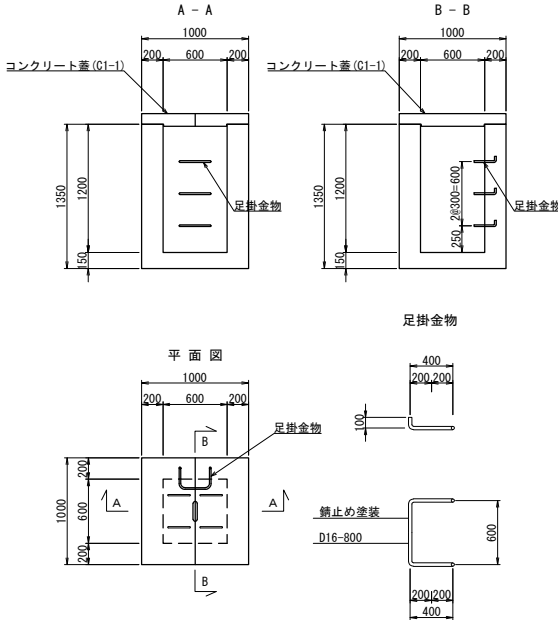
材料表 1箇所当り				
項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普 通 部	m ³	0.75	
埋戻し		m ³	0.27	
残土		m ³	0.48	
コンクリート	C1-1	m ³	0.28	
型わく	D	m ²	3.10	
グレーティング蓋	T-25用	枚	1	

Dc[^]-0.60-0.60-1.10 S=1:50



材料表 1箇所当り				
項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	機械掘削、土砂	m ³	1.80	
埋戻し		m ³	0.55	
残土		m ³	1.25	
コンクリート	C1-1	m ³	0.78	
	C1-1(ふた)	m ³	0.11	
型 枠	D	m ²	7.77	
	D(ふた)	m ²	1.00	
鉄筋	A	kg	16.60	足掛金物の重量を含む

Dc[^]-0.60-0.60-1.20 S=1:50



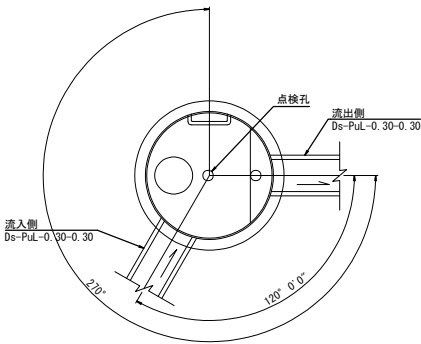
材料表 1箇所当り				
項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普 通 部	m ³	1.94	
埋戻し		m ³	0.59	
残土		m ³	1.35	
コンクリート	C1-1	m ³	0.85	
	C1-1(ふた)	m ³	0.11	
型 枠	D	m ²	8.48	
	D(ふた)	m ²	1.00	
鉄筋	A	kg	16.60	足掛金物の重量を含む

磐城自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	用排水工詳細図（２）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本シビックコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

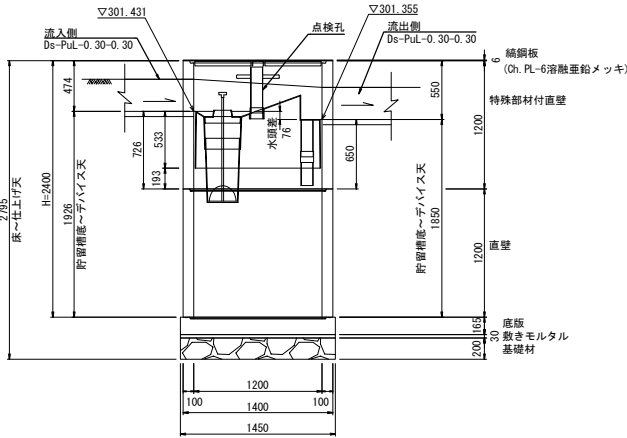
下り線 STA. 660+83.2

Dco(B)-φ1.20-2.40(120°)

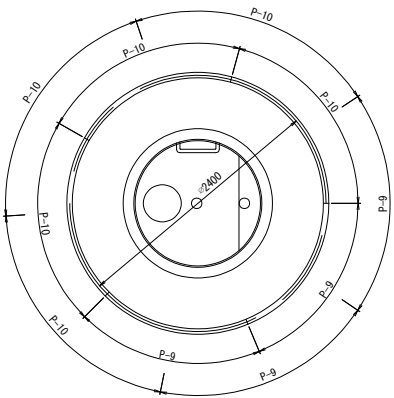
平面図



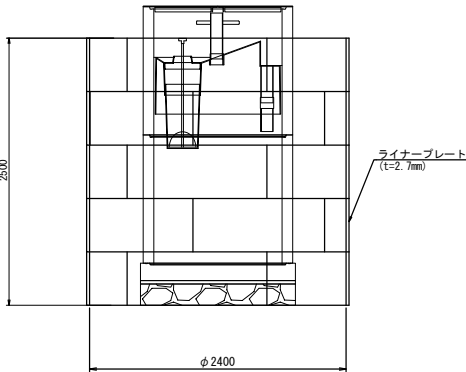
断面図



仮設土留工 平面図

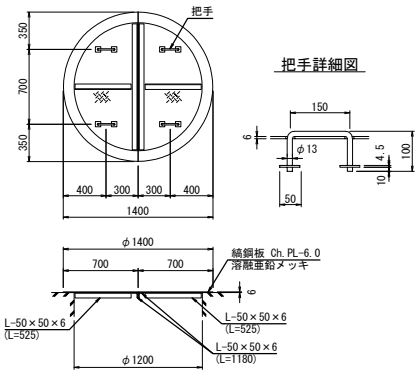


仮設土留工 断面図



蓋部詳細図

φ1.20共通



材料表

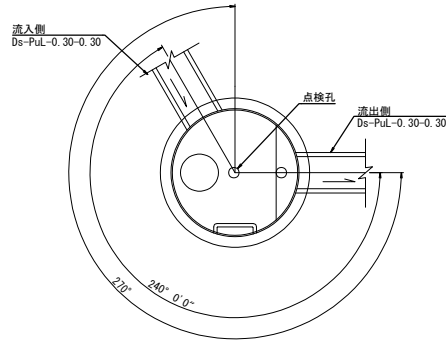
1箇所当り

名称	種別	規格・寸法	単位	数量	備考
蓋	縹鋼板	φ1200用, t=6	組	1	溶融亜鉛メッキ HDZ177 参考重量87.6kg/組
躯体	特殊部材付直壁	φ1200, h=1200	個	1	FRP製デバイス付 参考重量1251kg/個
	直壁	φ1200, h=1200	個	1	参考重量1200kg/個
	底版	φ1450, h=165	個	1	参考重量621kg/個
	穿孔	Ds-PuL-0.30-0.30用	箇所	2	
敷きモルタル		1:3	m ³	0.05	
基礎材		RC-40	m ³	0.33	
構造物掘削		普通部	m ³	11.86	土砂B
埋戻し		B	m ³	7.51	
残土			m ³	4.35	
ライナープレート	P-10	黒皮品 全R t=2.7mm	個	15	参考重量26.0kg/個
	P-9	黒皮品 全R t=2.7mm	個	10	参考重量23.6kg/個
組立ボルト	M16×30(4.6)	黒皮品	個	292	

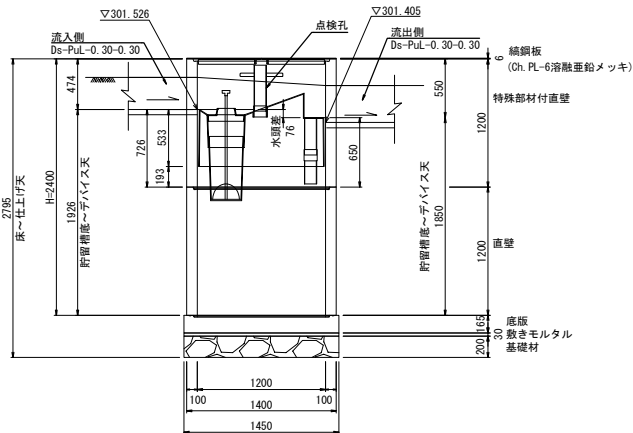
磐城自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	油水分離ます工詳細図（１）		
縮尺	1:50	図面番号	/
設計会社名	日本シビックコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

Dco(B)-φ 1. 20-2. 40 (240°)
下り線 STA. 660+83. 3

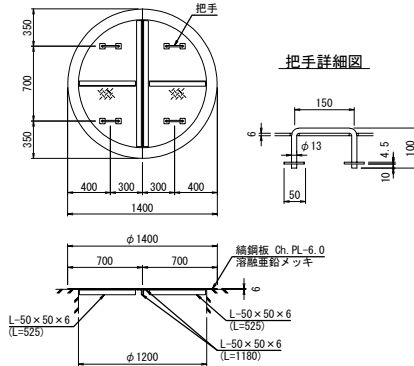
平面図



断面図



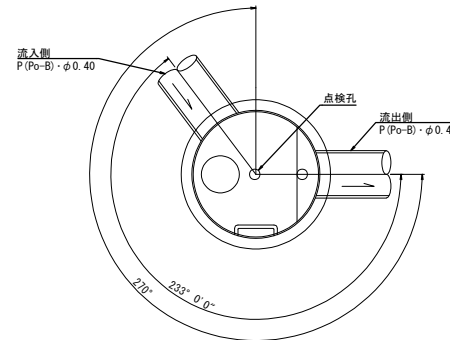
蓋部詳細図
φ 1. 20共通



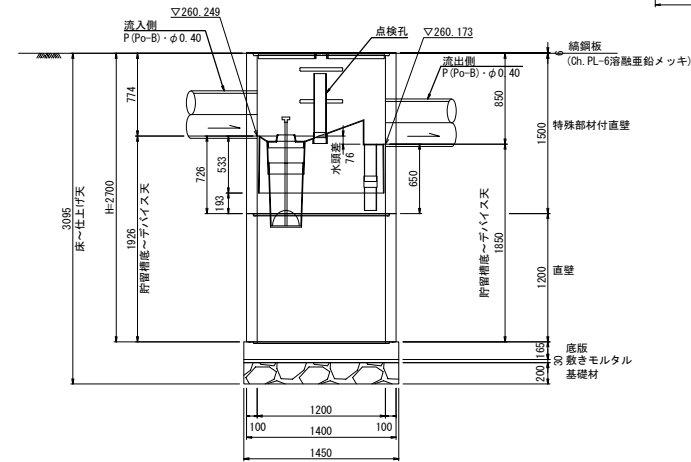
把手詳細図

Dco(B)-φ 1. 20-2. 70 (233°)
下り線 STA. 687+95. 6

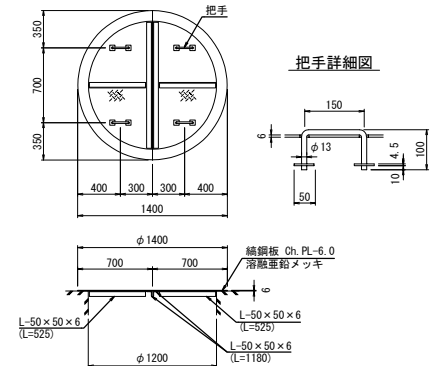
平面図



断面図



蓋部詳細図
φ 1. 20共通



把手詳細図

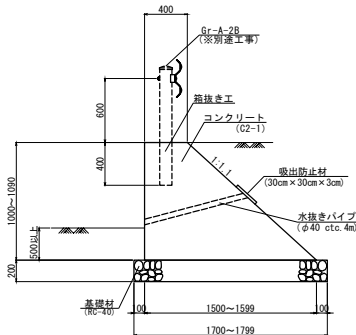
材料表		1箇所当り			
名称	種別	規格・寸法	単位	数量	備考
蓋	鋼鋼板	φ 1200用, t=6	組	1	溶融亜鉛メッキ HDZ177 参考重量87.6kg/組
躯体	特殊部材付直壁	φ 1200, h=1200	個	1	FRP製デバイス付 参考重量1251kg/個
	直壁	φ 1200, h=1200	個	1	参考重量1200kg/個
	底板	φ 1450, h=165	個	1	参考重量621kg/個
	穿孔	Ds-PuL-0.30-0.30用	箇所	2	
敷きモルタル		1 : 3	m ³	0.05	
基礎材		RC-40	m ³	0.33	
構造物掘削		普通部	m ³	21.09	土砂B
埋戻し		B	m ³	16.74	
残土			m ³	4.35	

材料表		1箇所当り			
名称	種別	規格・寸法	単位	数量	備考
蓋	鋼鋼板	φ 1200用, t=6	組	1	溶融亜鉛メッキ HDZ177 参考重量87.6kg/組
躯体	特殊部材付直壁	φ 1200, h=1500	個	1	FRP製デバイス付 参考重量1551kg/個
	直壁	φ 1200, h=1200	個	1	参考重量1200kg/個
	底板	φ 1450, h=165	個	1	参考重量621kg/個
	穿孔	P(Po-B)-φ 0.40用	箇所	2	
敷きモルタル		1 : 3	m ³	0.05	
基礎材		RC-40	m ³	0.33	
構造物掘削		普通部	m ³	29.17	土砂B
埋戻し		B	m ³	24.36	
残土			m ³	4.81	

図面の種類			
図面の種類			
縮 尺	1:50	図面番号	/
設計会社名	日本シビコンコンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
事務所名	会津若松管理事務所		

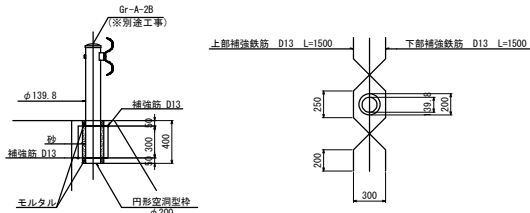
断面図 S=1:50

Rw-G-1.00~1.09



設計条件	
項目	数 値
表込土の内部摩擦角	30°
土	19.0kN/m ³
単位体積重量	23.0kN/m ³
基礎底面摩擦係数	0.6
載荷重	10.0kN/m ²
衝突荷重	50kN (A種)
設計水平震度	0.20
盛土材の材質	砂質土
最大地盤反力度	30.977kN/m ² (常時)
	56.202kN/m ² (衝突時)
	37.087kN/m ² (地震時)

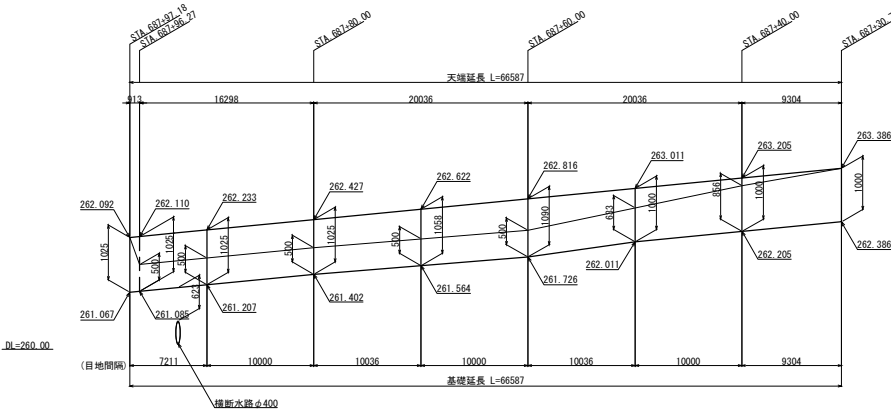
箱抜き工構造図 S=1:50



箱抜き工 材料表		10箇所当り		
名 称	種別・規格	単位	数 量	摘 要
円形空洞型枠	φ200 L=400	m	4.00	
鉄 筋	SD345 D13	kg	30.00	
砂充填		m ³	0.05	※別途工事
モルタル充填		m ³	0.02	※別途工事

展開図 V=1:100
H=1:500

① STA. 687+30.70~STA. 687+97.18 (左側)



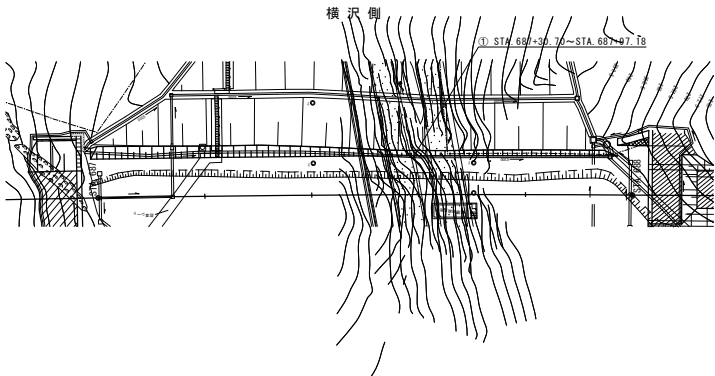
重力式擁壁工 数量表

項 目	単 位	数 量
重力式擁壁工	m	66.6

重力式擁壁工 材料表

項 目 名 称	単 位	数 量	備 考
構造物固削	土砂	m ³	0.1
コンクリート	C2-1	m ³	66.0
型 枠	C	m ²	178.6
基礎材	B	m ³	23.1 RC-40
箱抜き	φ200 L=400	箇所	33.0
目 地	t=10	m ²	6.0
水 抜 き パ イ プ	φ40 φ4000	m	16.3
吸 い 出 し 防 止 材	300 x 300 x 30	m ²	1.5

位置図 S=1:1000



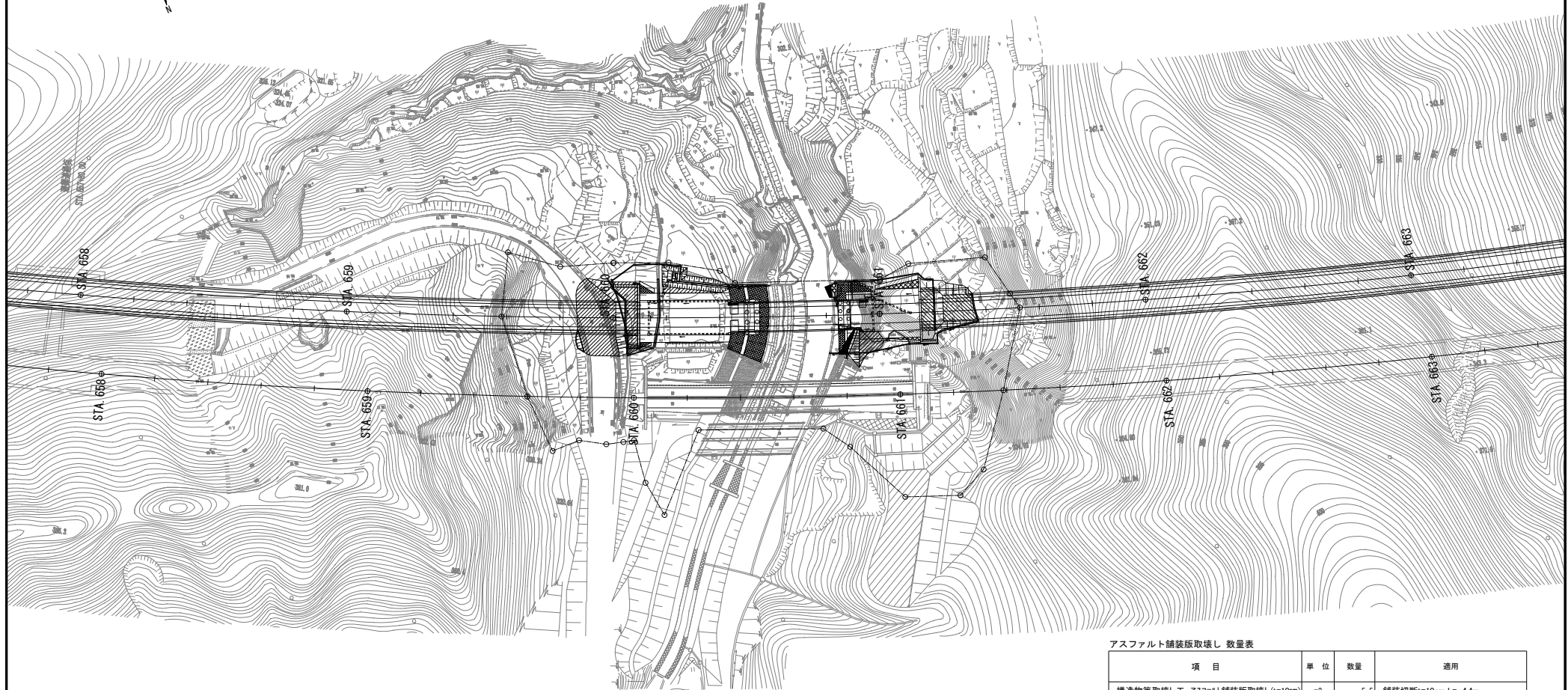
磐城自動車道 鳥居山トンネル工事			
図面の種類	重力式擁壁工一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本シビックコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

撤去工平面図（１） S=1:2000

6 / 17



コンクリートシール(t=10cm) (C) A=51.76m² アスファルト舗装撤去(t=10cm) A=5.49m²
Ds-Bf-0.30-0.20-24.2(C) Ds-Bf-0.30-0.20(T)-1.90
Ds-PuL-0.30-0.30(T)-25.80 Ds-PuL-0.30-0.30(T)-4.70



コンクリート構造物取壊し 数量表

区 分	単 位	延長又は 箇所	Type A 単位数量 (m ² , m)	Type B 単位数量 (m ² , m)	Type A 数量 (m ²)	Type B 数量 (m ²)
Ds-Bf-0.30-0.20(C)	m	28.30	0.028	0.000	0.79	0.00
Ds-K(1)-PuL-0.30-0.30(10)※	m	18.50	0.000	0.131	0.00	2.42
Dv-Pu-0.24-0.24(10)(C)	m	12.20	0.038	0.100	0.46	1.22
Dv-Pu-0.24-0.24(10)※	m	9.90	0.000	0.100	0.00	0.99
Dc-0.50-0.50-0.50(C)	箇所	1.0	0.000	0.220	0.00	0.22
Dc-0.50-0.50-0.50(C)	箇所	3.0	0.070	0.220	0.21	0.66
Dc-0.90-0.90-0.90(C)	箇所	1.0	0.190	0.670	0.19	0.87
コンクリートシール(t=10cm)(C)	m ²	51.76	0.000	0.100	0.00	5.18
Rw-Cb(W)-0.70-4.70(C)	m	10.88	0.000	1.714	0.00	18.65
合 計					1.7	30.2

※印の項目は、無筋部分(コンクリートR)のみを構造物等取壊し工の対象とする。

Dc-0.50-0.50-0.50(C)
Ds-PuL-0.30-0.30(T)-12.10
Dc-0.50-0.50-0.50(C)
Ds-PuL-0.30-0.30(T)-8.30
Dv-Pu-0.24-0.24(10)(T)-9.50
Dv-Pu-0.24-0.24(10)(T)-0.40 Dv-Pu-0.24-0.24(10)(C)-12.20
Ds-Bf-0.30-0.20(C)-4.10
Ds-K(1)-PuL-0.30-0.30(10)(T)-11.60
Rw-Cb(W)-0.70-4.70(C)-10.88

アスファルト舗装版取壊し 数量表

項 目	単 位	数量	適用
構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し(t=10cm)	m ²	5.5	舗装切断t=10cm L= 4.4m

撤去工 数量表

項 目	単 位	数量	適用
撤去工 用排水PuL-0.30-0.30	m	180.9	
撤去工 用排水K(1)-PuL-0.30-0.30(10)	m	18.5	コンクリートシールは構造物等取壊し工の対象
撤去工 用排水Bf-0.30-0.20	m	1.9	
撤去工 用排水Dv-Pu-0.24-0.24(10)	m	9.9	コンクリートシールは構造物等取壊し工の対象

注 1) 図面内 (T) は撤去工の項目を示す

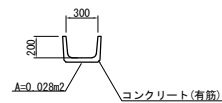
注 2) 図面内 (C) 構造物等取壊し工の項目を示す

磐城自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	撤去工平面図 (1)		
縮 尺	1:2000	図面番号	/
設計会社名	日本シビックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

撤去工詳細図（１）

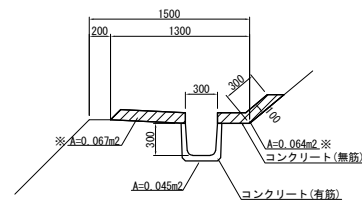
コンクリート構造物取壊し詳細図

Ds-Bf-0.30-0.20 縮尺 1:50



数 量 表 10m当り				
項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
コンクリート構造物 取壊し	TypeA	m3	0.28	有 筋
	TypeB	m3	—	無 筋

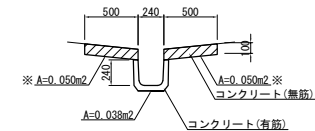
Ds-K(1)-PuL-0.30-0.30(10) 縮尺 1:50



数 量 表 10m当り				
項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
コンクリート構造物 取壊し	TypeA	m3	0.45	有 筋
	TypeB	m3	1.31	無 筋

注 1) 用排水撤去工の場合、※印のみを取壊すものとする
注 2) PuLは撤去、再設置するものとする

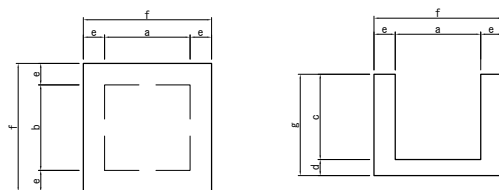
Dv-Pu-0.24-0.24(10) 縮尺 1:50



数 量 表 10m当り				
項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
コンクリート構造物 取壊し	TypeA	m3	0.38	有 筋
	TypeB	m3	1.00	無 筋

注 1) 用排水撤去工の場合、※印のみを取壊すものとする
注 2) PuLは撤去、再設置及び取壊しを含む

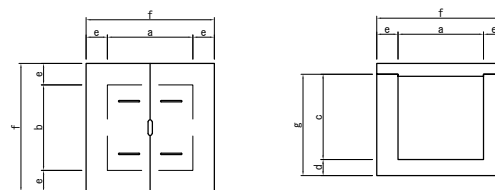
Dc-a-b-c



寸 法 表							
項 目	a	b	c	d	e	f	g
Dc-0.50-0.50-0.50	500	500	500	100	150	800	600

数 量 表 1箇所当り				
項 目	単 位	コンクリート構造物取壊し	適 用	
Dc-0.50-0.50-0.50	m3	TypeA	TypeB	標準図集より
		—	0.22	

Dc^~a-b-c

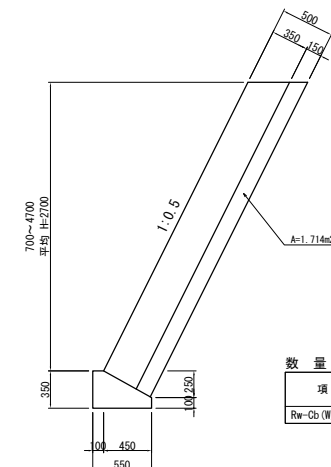


寸 法 表							
項 目	a	b	c	d	e	f	g
Dc^~0.50-0.50-0.50	500	500	500	100	150	800	600
Dc^~0.90-0.90-0.90	900	900	900	150	200	1300	1050

数 量 表 1箇所当り				
項 目	単 位	コンクリート構造物取壊し	適 用	
Dc^~0.50-0.50-0.50	m3	TypeA	TypeB	標準図集より
		0.07	0.22	
Dc^~0.90-0.90-0.90	m3	0.19	0.87	標準図集より
		0.19	0.87	

Rw-Cb(W)-0.70~4.70

縮尺 S=1:50



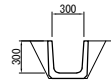
数 量 表 10m当り				
項 目	単 位	コンクリート構造物取壊し	適 用	
Rw-Cb(W)-0.70~4.70	m3	TypeA	TypeB	標準図集より
		—	17.14	

磐城自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	撤去工詳細図（１）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

撤去工詳細図（２）

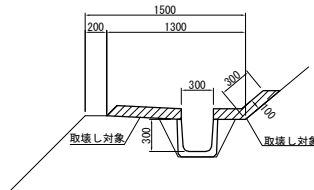
用排水詳細図

Ds-PuL-0.30-0.30 縮尺 1:50



材 料 表 10m当り				
項 目	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
用排水撤去	PuL-0.30-0.30	m	10.0	
掘削	土砂、人力掘削	m3	0.59	
埋戻し	土砂、人力掘削	m3	0.59	

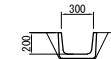
Ds-K(1)-PuL-0.30-0.30(10) 縮尺 1:50



材 料 表 10m当り				
項 目	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
用排水撤去	PuL-0.30-0.30	m	10.0	
掘削	土砂、人力掘削	m3	0.59	
埋戻し	土砂、人力掘削	m3	0.59	

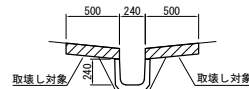
注）図面中の取壊し対象は構造物等取壊し工にて施工するものとする。撤去工詳細図(1)参照

Ds-Bf-0.30-0.20 縮尺 1:50



材 料 表 10m当り				
項 目	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
用排水撤去	Bf-0.30-0.20	m	10.0	
掘削	土砂、人力掘削	m3	0.27	
埋戻し	土砂、人力掘削	m3	0.27	

Dv-Pu-0.24-0.24(10) 縮尺 1:50



材 料 表 10m当り				
項 目	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
用排水撤去	Pu-0.24-0.24	m	10.0	
掘削	土砂、人力掘削	m3	0.46	
埋戻し	土砂、人力掘削	m3	0.46	

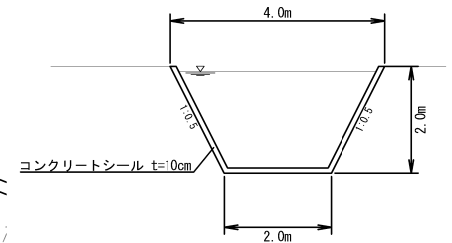
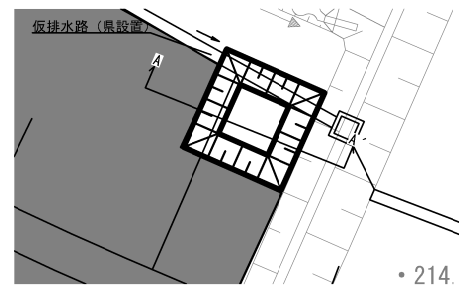
注）図面中の取壊し対象は構造物等取壊し工にて施工するものとする。撤去工詳細図(1)参照

磐越自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	撤去工詳細図（２）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 金澤若松管理事務所		

全体平面図
【自工区外盛土場A】

沈砂池拡大図 S=1:200

A-A' S=1:100



材料表（盛土付帯工 沈砂池設置工）

1箇所当り

項目	規格	単位	数量
構造物掘削	土砂	m ³	18.7
コンクリートシール	D1-1 t=10cm	m ³	3.1

別舟渡線 L=880.0m

吸着層工 A 2,828.2m²
敷砂工 A 1,114.4m³

数量表

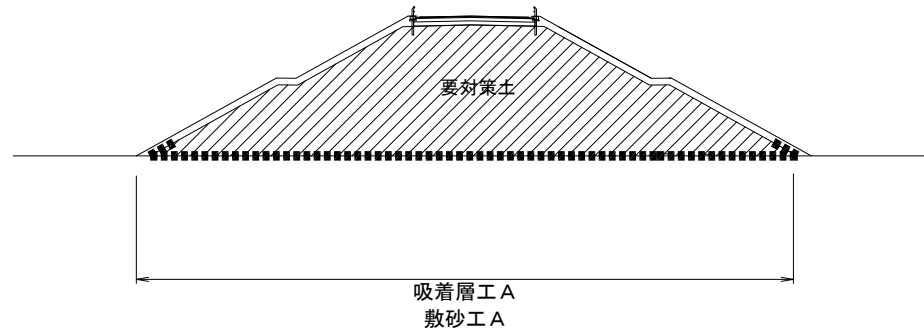
項目	規格	単位	数量	備考
盛土付帯工	吸着層工 A	m ²	2,828.2	A=2×21.1+2,786.0=2,828.2
盛土付帯工	敷砂工 A	m ³	835.8	上段、V=2,786.0×0.3=835.8
盛土付帯工	敷砂工 A	m ³	278.6	下段、V=2,786.0×0.1=278.6
盛土付帯工	沈砂池設置工	箇所	1.0	

※1 敷砂工 A の面積は、CAD 求積による。

※2 吸着層工 A の面積は、2m（吸着シート折り返し長）に各辺の和（CAD 計測）を乗じたものを敷砂工 A の面積に加えて算出する。

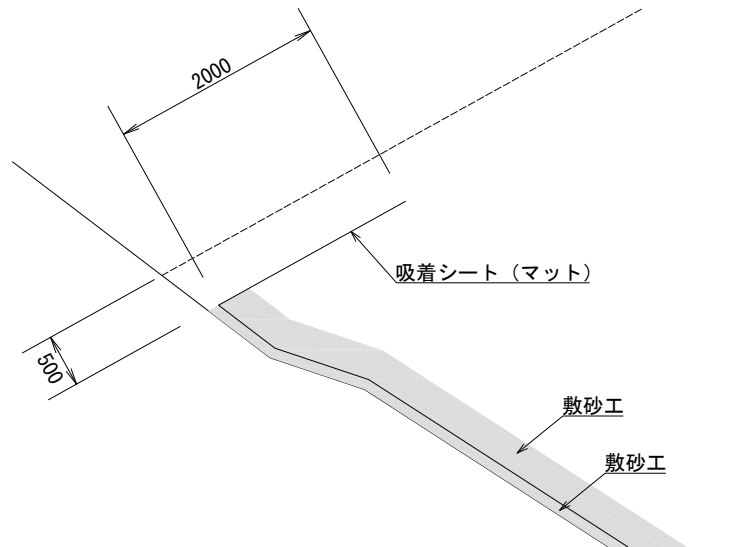
管轄自動車道 角屋山トンネル工事			
図面の種類	盛土付帯工図（１）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 金沢支社管理事務所		

横断概略図 S=1:400



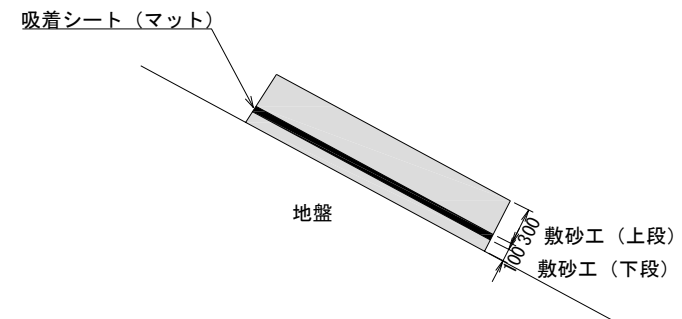
※基盤面の整地は福島県が実施する

端部詳細図（上部） S=1:50

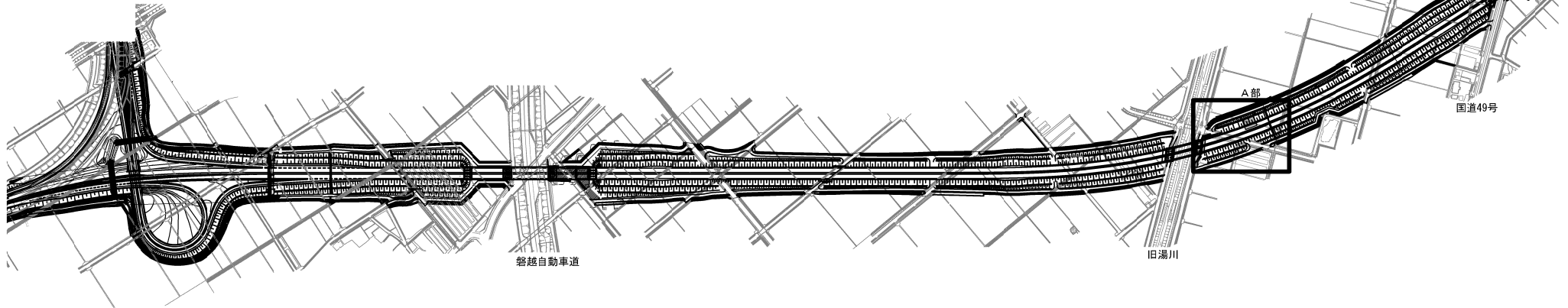


※吸着シート（マット）の端部については、基本、のり面に沿って2m折り返して設置する

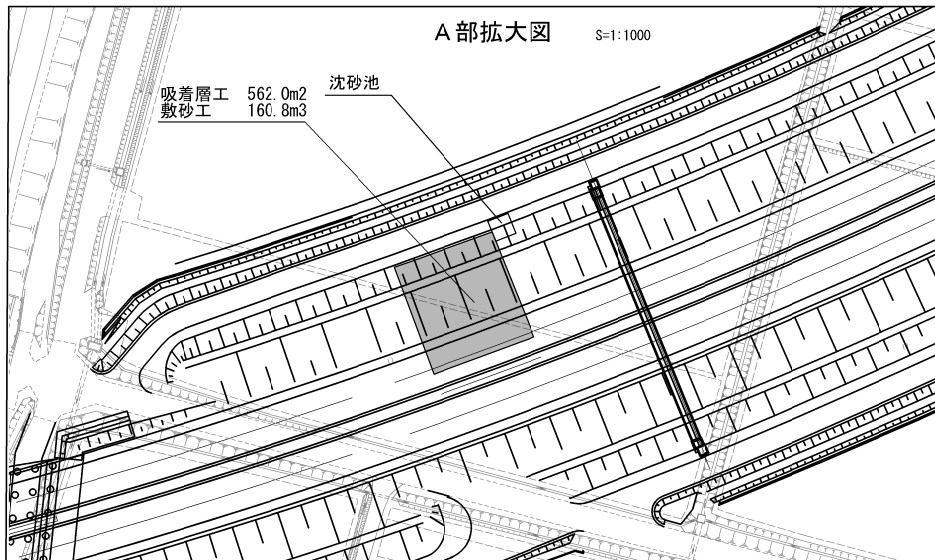
敷砂工詳細図



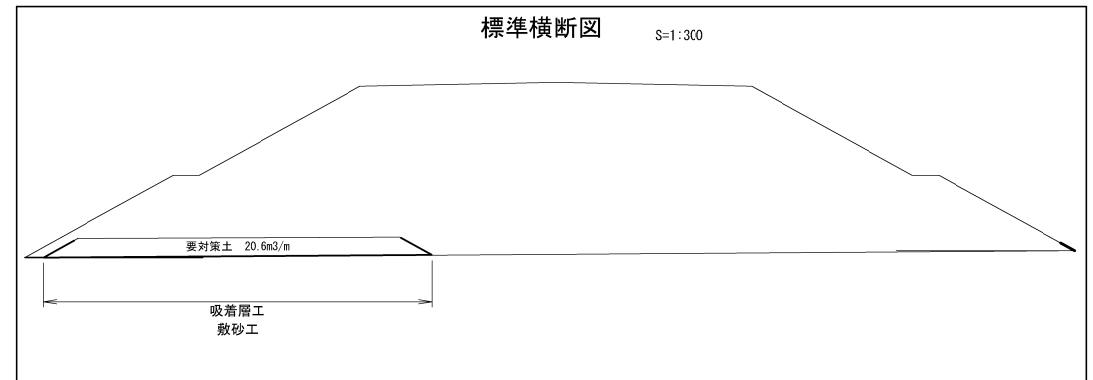
磐城自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	盛土付帯工図（２）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

全体平面図
【自工区外盛土場B】

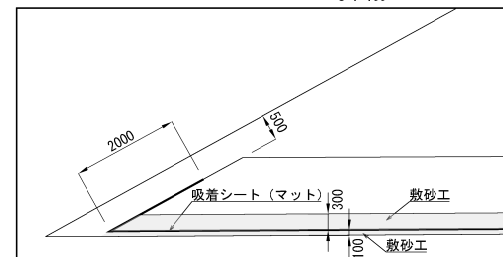
A部拡大図 S=1:1000



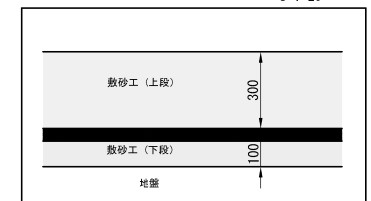
標準横断面図 S=1:300



端部詳細図 S=1:100



敷砂工詳細図 S=1:20



数量表

項目	規格	単位	数量	備考
盛土付帯工	吸着層工A	m2	562.0	A=402.0+2.0×20.0×4=562.0
盛土付帯工	敷砂工A	t=300	120.6	上段、V=402.0×0.3=120.6
盛土付帯工	敷砂工A	t=100	40.2	下段、V=402.0×0.1=40.2
盛土付帯工	沈砂池設置工	箇所	1.0	寸法は盛土付帯工図(1)参照

※1 敷砂工Aの面積は、CAD求積による。

※2 吸着層工Aの面積は、2m（吸着シート折り返し長）に各辺の和（CAD計測）を乗じたものを敷砂工Aの面積に加えて算出する。

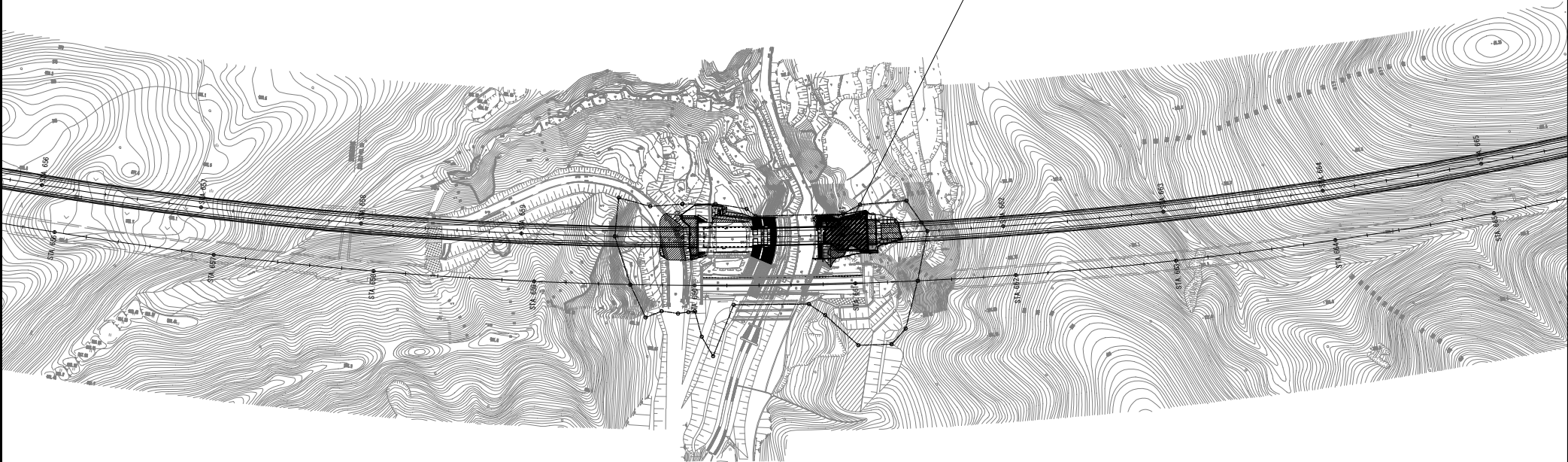
磐越自動車道 角屋山トンネル工事			
図面の種類	盛土付帯工図（3）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 金沢支社管理事務所		



西会津町

立木伐採工 N=3本、A=550m2
区分：伐木（粗）（10本/100m2未満）

西会津町



磐越自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	立木伐採工図（１）		
縮 尺	1:2500	図面番号	/
設計会社名	日本シビックコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

立木伐採工図（2） S=1:2500

14 / 17



立木伐採工 N=1,337本、A=4,500m²
区分: 伐木(中) (10本/100m²以上 50本/100m²未満)

立木伐採工 N=5本、A=60m²
区分: 伐木(粗) (10本/100m²未満)

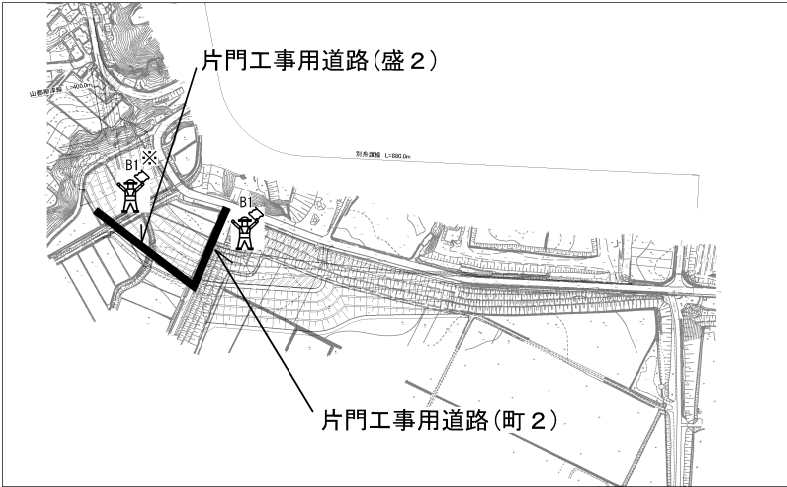
立木伐採工 N=5本、A=55m²
区分: 伐木(粗) (10本/100m²未満)

磐城自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	立木伐採工図（2）		
縮尺	1:2500	図面番号	/
設計会社名	日本シビックコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

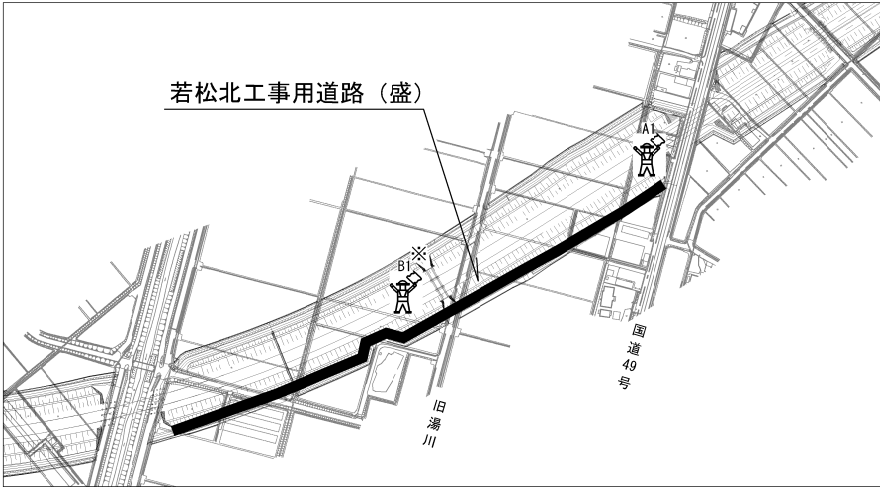
本線部



自工区外盛土場 A



自工区外盛土場 B



凡 例

A1 交通誘導警備員 A 1

B1 交通誘導警備員 B 1

※：荷下ろし箇所車両誘導

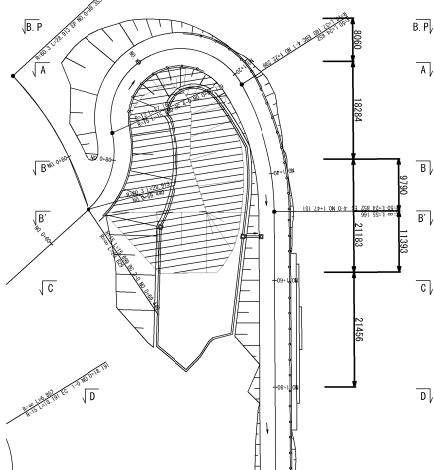
磐越自動車道 鳥屋山トンネル工事			
図面の種類	交通安全要員配置図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

ずり仮置き場復旧工図(1)

平面図 S=1 : 2500



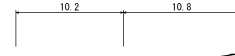
断面位置図 S=1:1000



断面図 S=1 : 500

B' - B' 断面

NO. 1+47.151 (EC 4-0)
附=315.591

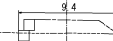


B' - B' 断面	
盛土	59.6 m³
掘削	0.0 m³
埋設布工	0.0 m

D - D 断面

NO. 1+80

±

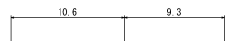


D - D 断面	
盛土	0.0 m³
掘削	0.0 m³
埋設布工	0.0 m

B - B 断面

NO. 1+37.314

NO. 0+80
±

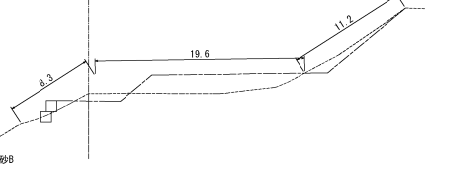


B - B 断面	
盛土	63.6 m³
掘削	0.0 m³
埋設布工	0.0 m

C - C 断面

NO. 1+58.544

±

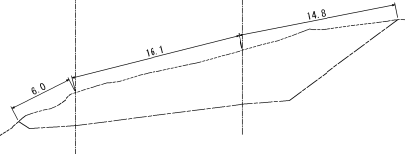


C - C 断面	
盛土	0.0 m³
掘削	0.0 m³
埋設布工	0.0 m

A - A 断面

NO. 1+16.681

NO. 1+0
±



A - A 断面	
盛土	0.0 m³
掘削	0.0 m³
埋設布工	0.0 m

測点	面積 (m2)	平均面積 (m2)	距離 (m)	土量 (m3)
B. P	0.0	0.0	0.000	0.0
A-A	0.0	0.0	8.060	0.0
B-B	63.6	31.8	18.284	581.4
B' -B'	59.6	61.6	9.790	603.1
C-C	0.0	29.8	11.393	339.5
D-D (E. P)	0.0	0.0	21.456	0.0
計				1524.0

線 種 凡 例	
---	現地盤線
---	工事用道路計画線
---	復旧線

土 量 凡 例	
▨	盛土

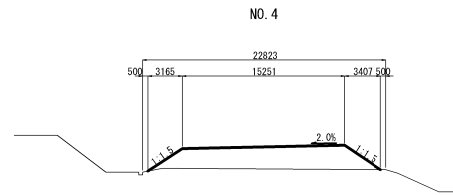
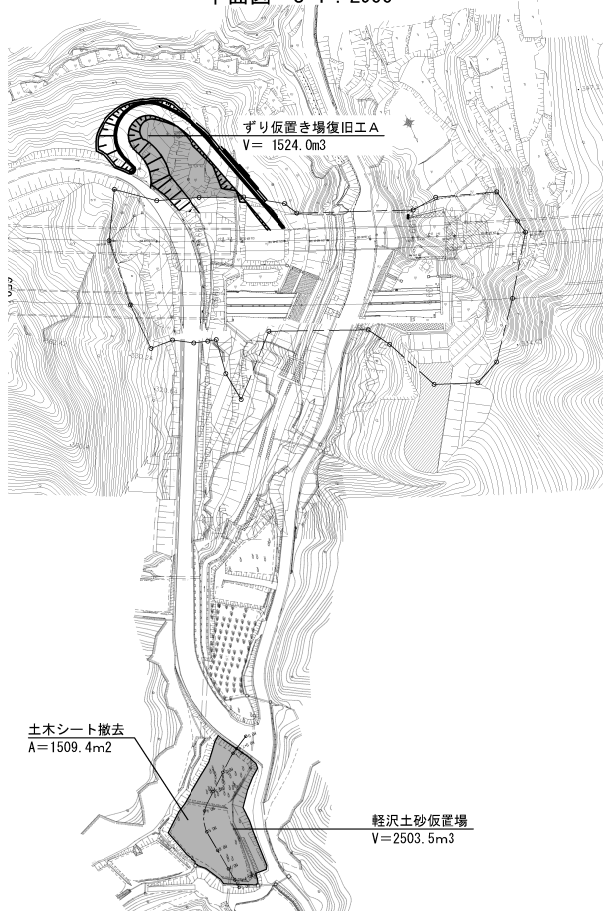
磐城自動車道 角屋止トンネル工事			
図面の種類	ずり仮置き場復旧工図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		

ずり仮置き場復旧工図(2)

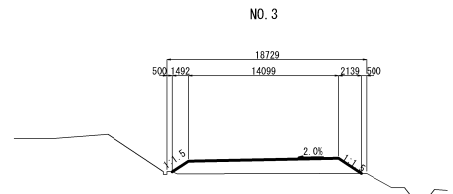
土取場：軽沢土砂仮置場

横断面 S=1 : 500

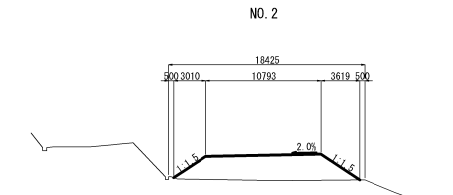
平面図 S=1 : 2500



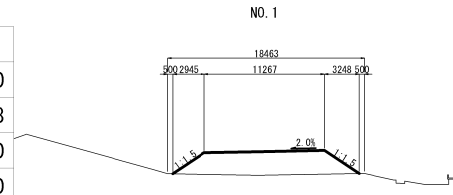
掘削面積
NO. 4 37.88㎡



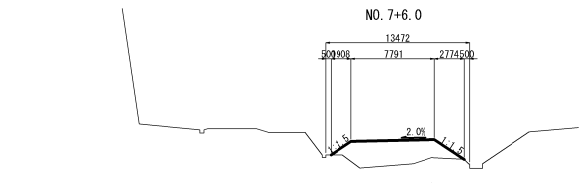
掘削面積
NO. 3 20.91㎡



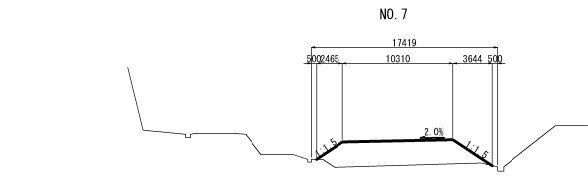
掘削面積
NO. 2 33.00㎡



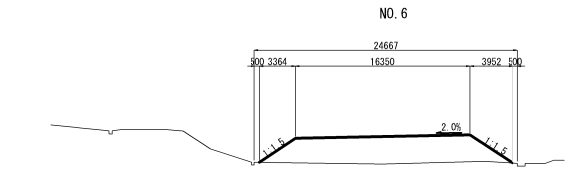
掘削面積
NO. 1 31.06㎡



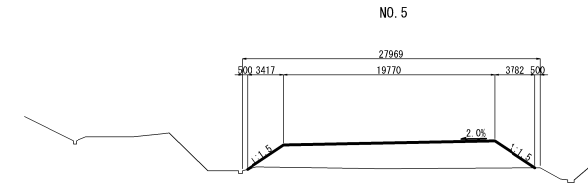
掘削面積
NO. 7+6.0 21.24㎡



掘削面積
NO. 7 30.48㎡



掘削面積
NO. 6 49.20㎡



掘削面積
NO. 5 54.77㎡

測点	面積 (m2)	平均面積 (m2)	距離 (m)	土量 (m3)
No. 0+7.4	0.00	0.00	7.40	0.00
No. 1	31.06	15.53	2.60	40.38
No. 2	33.00	32.03	10.00	320.30
No. 3	20.91	26.96	10.00	269.60
No. 4	37.88	29.40	10.00	294.00
No. 5	54.77	46.33	10.00	463.30
No. 6	49.20	51.99	10.00	519.90
No. 7	30.48	39.84	10.00	398.40
No. 7+6.0	21.24	25.86	6.00	155.16
No. 8	0.00	10.62	4.00	42.48
計				2503.52

軽沢土砂仮置場 数量表

施工箇所	数量	単位	備考
軽沢土砂仮置場	2178.0	m3	補正土量 (2503.5*0.87) 土砂B
搬出先内訳			
工事用仮橋脚工A・B-1・B-2	654.0	m3	盛土量 掘削・積込・運搬はA・B-1・B-2に含む
ずり仮置き場復旧工A	1524.0	m3	盛土量 (2178.0-654.0) 土木シート撤去 1509.4m2を含む

磐城自動車道 角館止トンネル工事			
図面の種類	ずり仮置き場復旧工図(2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 会津若松管理事務所		